



## 「衣服の人格」

おかげで男性の夏姿もなんとか格好がつくことになった。これまで色々文句を言われ定番のなかった男性の夏の衣服問題もこれで卒業ということになるの

言動、性格とは関係なく独自のメッセージを発信している。「人間＝裸体＋衣服」という方程式を覚えていると損はないようである。精神科医の私もこの方程式に従って患者様を診ているようであり、患者様もなんとなくこのことを知っているようである。最高のおめかしをして診察にこられる。それでは精神科医がみている「ころ」とは、いったい何のことだったのかとふと疑問に思う。男性も、女性に習って化粧（粧）けるのではなく、いかに社会性を意識しているのか、T.P.Oを考えて衣服を選択をしているのが大切なのである。

炎暑が続いている。クー

ルビズを着た経団連の奥田会長の姿をテレビでよく観る。セレブとおもつてみるかなのか、けっこう様になっているように思う。今年の紳士服は、クールビズの効果で36%増の売上げとなった。百貨店、スーパーとも7月のクールビズ関連商品は好評を維持しているという。

だろうか。

別の新聞に「衣服の人格」を問題にしていたコラムがでていた。ヒトは社会的な存在であり、いつも「裸体＋衣服」という二重構造で機能しているのだという。これは共立女子短期大学の城夫教授のご意見である。人間は衣服とは切り離せないという（ことで、衣服はその人の

医学博士 西浦信博

(京阪病院院長)